

## 第4回 九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と 県営水道の統合協議会 結果概要

- 1 日 時 令和6年1月19日（金）14時30分～15時10分
- 2 場 所 千葉県庁本庁舎5階特別会議室（Web開催）
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 議事概要

### あいさつ

開催にあたって会長である熊谷知事からあいさつがあった。

### 議題

#### ○議案第1号 九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合協議会 設置要綱の改正について

統合協議会設置要綱の改正を提案し、原案どおり承認された。

### 質疑応答

特になし

#### ○議案第2号 九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合に関する 覚書の見直しについて

水道用水供給料金について、覚書第2条第1項の規定にかかわらず、統合後の一定期間は地域別料金制を導入し、その後に統一することも選択肢の一つとして検討すること、統合の時期について、覚書第7条の規定にかかわらず、令和8年4月を目途とすることなど、覚書の見直しを提案し、原案どおり承認された。

### 意見交換

#### （九十九里地域水道企業団企業長 田中委員）

九十九里地域水道企業団の企業長として一言申し上げさせていただきたい。

今、事務局から、「統合時期の1年延期」について、また、料金関連では「地域別料金制導入の検討」などについて報告があった。様々な課題解決に多角的に取り組むための必要な検討期間の確保、また地域の実情を汲んだ段階的かつ現実的なプロセスの提示という点において、一歩前進したのではないかと感じている。

人口減少や老朽化施設の更新需要増という従来の課題に昨今の動力費高騰をはじめとする物価高の影響が加わるなど、水道事業を取り巻く環境は一層厳しさを増しているが、こういう状況だからこそ統合のメリットをきちんと見出し乗り越えていく必要があると考えている。

九十九里地域の将来にわたる持続的な安定給水を実現していくためにも、九十九里地域13

市町村から県に提出した要望内容も踏まえ、関係者間で統合による効果が十分に得られるよう、御配慮いただきたい。

最後になるが、水道の統合によって、最終的に影響を受けるのはエンドユーザーである地域住民である。厳しいことを申し上げると、現行の協議では、この点がやや希薄ではないかと感じている。

用水供給事業の運営を支えているのは、末端給水事業体、それらを構成する我々市町村、そして地域住民の皆様である、という視点を決して忘れることなく、皆さんと十分な協議を進めていただき、結果として多くの関係者が納得出来る形での統合となるよう、お願い申し上げます。

#### **(千葉県知事 熊谷知事)**

将来にわたる安定給水の確保という統合の意義やその効果に関係者間で改めて共有のうえ、議会や地域住民の皆様に対し、統合の意義や効果を分かりやすく伝える工夫をしてみたい。

#### **(南房総広域水道企業団企業長 太田委員)**

南房総広域水道企業団の企業長として一言申し上げます。

先ほど、事務局から「地域別料金制の導入の検討」及び「統合期日の延期」について説明があった。

いずれも九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合を、着実かつ円滑に進めるために御提案をいただいたものと、千葉県をはじめ関係者の皆さんに、改めて感謝を申し上げます。

言うまでもないことだが、今回の統合は、人口減少や施設の老朽化等の課題を抱える中、今後とも安定的に水道用水を供給するために、経営基盤の強化等を目的とするものであり、現在進めている末端給水事業の統合とともに、将来の南房総地域にとって必須のものと考えている。

現在の検討の中では、動力費高騰等の影響で準備会議の時点より料金水準が大幅に上昇したことが課題となっているところだが、動力費高騰等への対応は、統合がなくとも求められるものであり、この統合協議会において対応を検討していただくとともに、各市町村においては、住民の将来を考え、現在置かれている状況を、合理的に判断していく必要があると考えている。後世に禍根を残すことがないように、小異を捨てて大同につくべきと考える。

今後は、令和8年4月の統合の実現に向けて、延期された期間を有効に活用し、より一層精力的に、県及び関係市町村の皆さんと協議・検討を進めてまいりたいと考えているので、よろしく願います。

#### **(千葉県知事 熊谷知事)**

関係市町村等と丁寧な議論を積み重ねつつ、協議を更に加速してまいりたいと思うので、今後も引き続き御協力をお願いしたい。

#### **(南房総広域水道企業団副企業長 石井委員)**

南房総広域水道企業団の副企業長として、また 安房地域を代表して、一言申し上げます。

先ほど、太田企業長からも発言があったが、南房総地域における統合の必要性については、構成市町の首長一同、十分理解しているところであり、これまで千葉県が中心となって統合

協議を進めていただいていることに、改めて感謝申し上げます。

御案内のとおり、南房総地域は、もともと県内でも水道料金が高い地域であるが、施設の老朽化や物価高騰等への対応のため、一部地域で値上げを予定するなど経営状況は一段と厳しい状況にあり、経営基盤の強化等を目的とする今回の用水供給事業と末端給水事業の統合は、将来の水道事業の維持のため、必須のものと考えている。

今後も用水供給・末端給水の双方が確実に統合し、その効果を十分に享受できるよう、積極的に協議を進めてまいる所存なので、安房・夷隅地域の水道事業統合協議会との緊密な連携・情報共有等についても、よろしくお願ひしたい。

また、現在、進めている南房総地域の末端給水事業体の統合協議においては、老朽化した施設の統廃合や自己水源から用水受水への切り替え等、出来る限りの方策を検討しているところである。

今後の統合協議会における具体の料金体系のあり方などの協議においては、末端給水事業体の統合に伴う効果を最大限に活かすための方策等についても検討していただくとともに、そもそもの出発点である県内の水道料金格差がさらに拡大することのないよう、全県的な視点からの特段の御配慮をお願ひする。

#### **(千葉県知事 熊谷知事)**

末端の統合協議会と適宜情報を共有し、連携を強化するなど、御意見も踏まえつつ、今後の統合協議を進めてまいりたい。

### **○議案第3号 九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合基本計画（骨子素案）の見直しについて**

統合基本計画（骨子素案）について、議案第2号による覚書の見直しに応じ修正することを提案し、原案どおり承認された。

#### **質疑応答**

特になし

#### **その他**

統合協議の進捗及び今後の協議予定について報告を行った。

#### **質疑応答**

特になし

以 上